

いま いろいろ はな 今を彩る花たち

ふれあいの森では季節ごとに色々な種類の花が咲きます。
意識してみると、種類ごとに色や形、咲いている場所が
こと異なります。

種類によっては、イヌタデやコウヤボウキのように小さな
花が集まり、1つの花のように見えるものもあります。
じっくり観察してみると色々な気付きがあります。



センニンソウ



コウヤボウキ

白



アカネ



ソバ



ノダケ



ヒガンバナ

赤



キンミズヒキ

黄



ツクサ

青



イヌタデ



ミゾバ



ヨシノアザミ

ピンク



ツリガネニンジン

紫



よびお

今回の森の館通信を作るにあたって、私自身も改めて植物について
調べてみると、新たな発見がありました。
知らなかったことを知ったときの感動は、他にはどんな知らないこ
とがあるのだろうか、次の発見に繋がってくれます。
みなさんも観察を通していろいろな発見をしてくださいね。

植物を観察するときは、花を
つんだり、葉や茎を採ったり
せずに、見るだけにしてね。

はな かんさつ 花の観察ポイント

ほか はな かいせつ
他の花の解説は
こちらから⇒



センニンソウ キンポウゲ科

昆虫はらっぱなどの林縁部で見られます。
果実に仙人のひげのようなたげが付くことが、名前の由来です。
葉や茎の汁にさわると、かぶれるので注意が必要です。



アカネ アカネ科

昆虫はらっぱと第二豊田川みちの間で見られます。
1株からたくさんの小さい花を咲かせます。
根を用いて染めると、赤く染まることが名前の由来です。



ミゾソバ タデ科

クヌギ林の林縁などぬかるんでいるところで見られます。
溝から生えてきたことが名前の由来です。
葉が特徴的な形をしており、「ウシノヒタイ(牛の額)」という別名もあります。



ヒガンバナ ヒガンバナ科

畑で見られます。
お彼岸の頃に咲くので、ヒガンバナと言われています。
葉は花が咲く時期は出ず、花が終わってから出ます。
葉だけの時期は、気づきにくいですが、花の後も観察してみてください。



ノダケ セリ科

第二豊田川みちで見られます。
名前にタケとありますが、竹の仲間ではなく、ニンジンに近い仲間です。
花にはハチやハエなどの虫がよく寄ってきます。



ツククサ ツククサ科

屋上など館周辺で見られます。
青い2枚の花びらが目立ちますが、よく見ると下側にもう1枚小さくて白い花びらがあります。



堺自然ふれあいの森

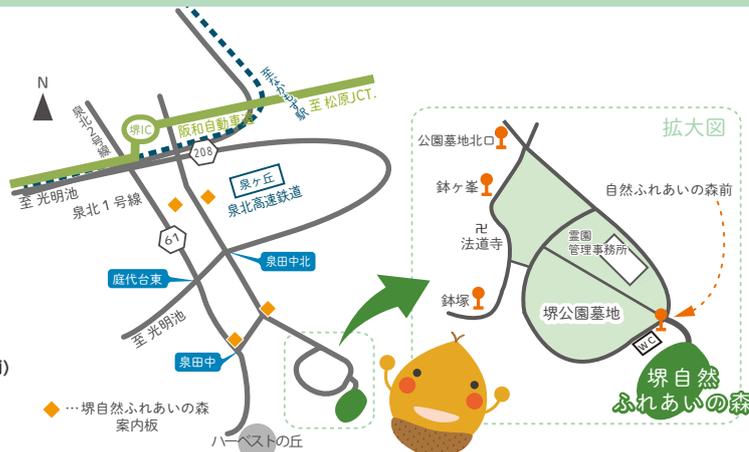
開園時間 9:00~17:30(3月~10月)・9:00~16:00(11月~2月)
休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑 1740 番地
TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>



堺自然ふれあいの森【公式】
(@sakaishizenfureainomori)

堺自然ふれあいの森



バス 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側②番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ

車 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標にお越しください